

「地域公共交通計画（東京メトロ南北線の分岐線（品川～白金高輪）の沿線地域（案）」
に関する意見募集の結果

東京都は、令和4年10月26日（水曜日）に「地域公共交通計画（東京メトロ南北線の分岐線（品川～白金高輪）の沿線地域（案）」を公表し、ホームページの掲載等を通じて、都民の皆様から幅広いご意見を募集しました。貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。

ここでは、お寄せ頂いた意見の概要と、ご意見への対応方針を紹介させていただきます。

■意見募集の期間と件数

- 募集期間 令和4年10月26日（水曜日）から令和4年11月24日（木曜日）まで
- 意見数総数 6通 10件

1 東京メトロ南北線の延伸（品川～白金高輪）に関する意見

意見の概要	回答
東京メトロ南北線の延伸は、品川駅周辺の競争力強化、東京の国際競争力強化と相乗効果が期待できる取組である。2030年代半ばの開業を目標としているが、可能な限り早期に実現して頂きたい。	地域の皆様方のご理解とご協力を得ながら、東京メトロ南北線の延伸の早期実現に向け関係者と連携して取組んでまいります。
品川駅前地区の再開発ビルと地下鉄の駅を直結し、地域住民や地域へのメリットの創出を要望する。	品川駅（仮称）の出入口については、利用者の利便性や駅周辺における再開発事業などの将来計画を総合的に考慮しながら、今後、関係者間で調整していくこととなります。
地下鉄の出入口は、品川駅周辺の再開発ビルと接続するなど、地域の利便性に配慮した設計をお願いします。	
品川駅（仮称）から地下道による市街地側への接続など、地域にとっても分かりやすく、使いやすい歩行者目線での計画を検討して頂きたい。	
東京メトロ南北線の延伸が待ち遠しい。計画案に基本的に賛成である。 東京メトロ南北線の延伸に当たっては、将来を見据えて品川駅を2面3線化などによる増設工事が容易な計画にすべきである。	品川駅（仮称）については、将来の乗降人員の見込みなどを踏まえながら、利用者の安全性や旅客導線等を考慮し、1面2線の島式による計画としました。

2 環境への影響に関する意見

意見の概要	回答
<p>東京メトロ南北線の延伸には賛成であるが、振動や騒音が心配である。</p> <p>科学的なデータを示していただき、安心して住み続けられる住環境の確保を要望する。</p>	<p>東京メトロ南北線の延伸が周辺環境に与える騒音・振動の影響については、現在、調査・予測・評価の手法を記載した調査計画書に基づき、予測・評価の内容を示した環境影響評価書案を作成しているところです。</p>
<p>東京メトロ南北線の延伸は、便利になり歓迎するが、工事中や完成後の騒音振動対策に十分な配慮をお願いする。</p>	<p>その内容については、今後、東京都環境影響評価条例に基づく環境影響評価手続きの中で、環境影響評価書案に関する説明会などを通じてお示しする予定です。</p>

3 その他

意見の概要	回答
<p>品川駅周辺の開発は大規模かつ未来志向のプロジェクトであることから、協力し合って機能的で魅力あふれる街づくりとなるよう取り組んでいきたい。</p>	<p>東京メトロ南北線の延伸の推進に当たっては、利用者の利便性や駅周辺における再開発事業などの将来計画を総合的に考慮しながら駅の出入口を配置するなど、品川駅（仮称）を利用しやすい駅としていくため、関係者間で連携して取り組んでまいります。</p>
<p>東京メトロ南北線の延伸の完成後、現在凍結している副都心線の品川駅への延伸計画を再検討していただきたい。</p>	<p>東京圏における鉄道ネットワークの整備については、平成 28 年 4 月に国の交通政策審議会が東京圏における今後の都市鉄道のあり方を取りまとめた答申第 198 号を基本に取り組んでおります。</p> <p>副都心線の品川駅への延伸につきましては、この答申に位置付けられておりません。</p>
<p>震災や風水害の発災時にトンネル内で列車が停止した場合の旅客の地上避難対策は検討されているのか伺う。</p>	<p>災害時にトンネル内で列車が停止した場合の利用者の地上への避難対策については、地下鉄道の火災対策基準、消防法、建築基準法などの関係法令に準拠し、東京メトロが計画していくことになります。</p> <p>ご意見につきましては、事業の主体である東京メトロにお伝えします。</p>